



2021年7月15日発行の川崎重工業株式会社第58回債(サステナビリティボンド)については、調達資金の全額を対象プロジェクトの一部に充当しており、未充当残高はありません。本社債の資金充当による環境・社会効果の各種指標は以下のとおりです。

クライテリア	プロジェクト	資金充当状況 (調達額:100億円)	インパクト・レポート	
			アウトプット指標	アウトカム指標
自動PCR検査 ロボットシステム 普及 	コンテナ式PCR検査システム関連の開発投資	20億円 (全額充当済)※1	<ul style="list-style-type: none"> ● 同システム導入台数 19台 	<ul style="list-style-type: none"> ● PCR検査件数 422,417検体 ※2 ● 陰性証明の発行件数 2,960件 ※2 ※3
	コンテナ式PCR検査システム関連の製造投資			
	自動PCR検査プラットフォーム(WEB予約システム等)の開発投資			
クリーン水素 サプライチェーン 構築 	クリーン水素サプライチェーン構築に向けた開発・実証投資	80億円 (全額充当済)※1	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究開発、実証の進捗状況 当社の提案する水素サプライチェーンのコンセプトが評価され、NEDOによる「水素社会構築技術開発事業/大規模水素エネルギー利用技術開発」の「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」に係る採択を受け、世界初の国際間液化水素輸送実証試験を完遂しました。(※4) さらに、同事業において海上/陸上タンク、ローディングアームの大型化に取り組んでいます。また、水素液化機に関しては、NEDOによる「GI基金事業」の「革新的液化技術開発」に係る採択を受け、大型化・高効率化に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水素利用によるCO2排出削減量(理論値) ※6
	クリーン水素サプライチェーン構築に向けた製造投資			

※1 2019年度～2021年度のリファイナンス資金として充当

※2 2020年度～2021年度実績

※3 医師の診断に基づく医療機関から発行される陰性証明書のみを集計対象とする

※4 技術研究組合(<https://www.hystra.or.jp/>)を組成して実施(プレスリリース: https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_20220409_1.pdf)

※5 2031年度までに、日本への水素運搬可能量22.5万t/年以上を目標とする

※6 ※5で輸送した水素(22.5万t/年)を利用することによるCO2排出削減量は約160万t/年(理論値)